

XSL-FO & CSS 2種類のスタイルシートをサポートする XML 高機能自動組版ソフトウェア

ANTENNA HOUSE F Formatter V6

新しい機能

図版の最適配置を実現

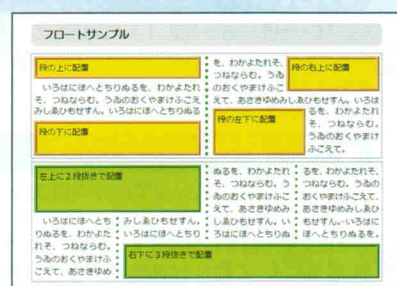
従来からのfloat機能を大幅に機能強化しました。「ページの任意の位置へのフロート配置」、「段組ページの段をまたがるフロート配置」といったことが可能になり、学習参考書の組版のような図版を多用するような場合も使い勝手が向上しました。また、「JIS X 4051における図版配置の基本的な考え方」をベースにした「自動最適配置」にも対応しています。

ルビ・圏点に対応

ルビや圏点に対応しました。これにより文字列に本来のルビが表現できるようになり、圏点も付けることができます。またルビ文字が長い時に、自動的に文字幅を圧縮するなどのルビオプションも用意しました。

オプション機能

見出しなどの文字間の空きを自動挿入、行折り返し時のインデント位置指定機能、OpenType字形選択機能など、詳細な体裁を実現できる機能を実装しました。

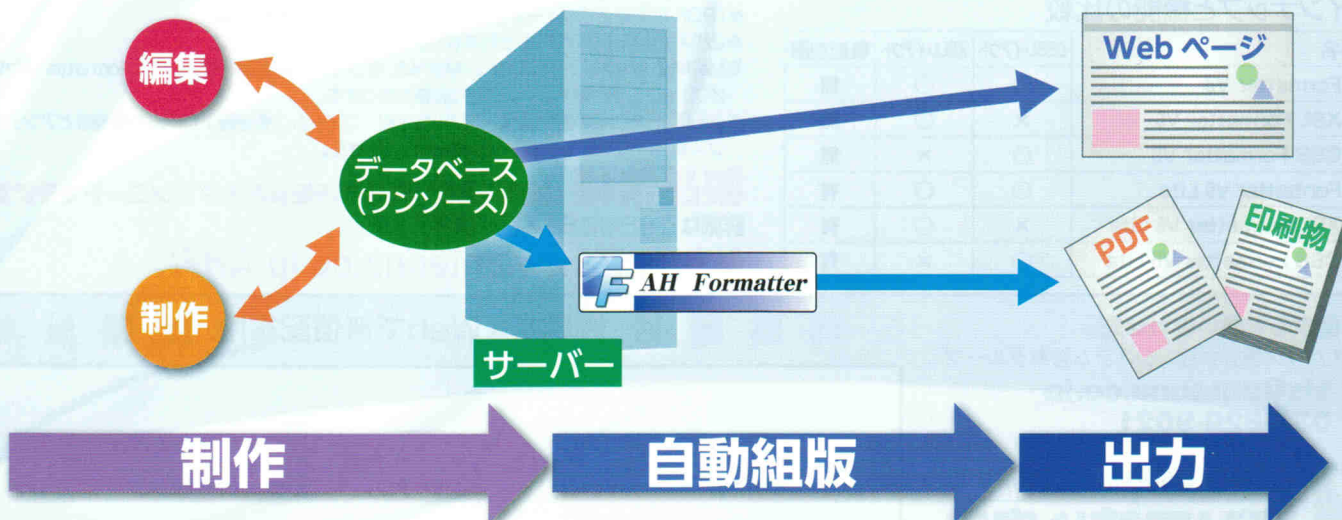


段組ページでのフロート配置例

製品の特長

- 電子書籍と印刷媒体を同時に制作する場合など、XMLデータやHTMLデータからの自動組版に最適です。
- 大規模文書を組版することが可能ですので、数万ページに及ぶようなテクニカルマニュアルなどの組版に最適です。
- 50以上の多言語に対応しており、40言語以上でのハイフネーション機能を標準で内蔵しています。
- PDFにしおりをつけたり、分冊出力やタブ付きPDF、PDF/X、PDF/Aといった豊富なPDF出力機能を実装しています。
- MathMLや、SVG、CGM/WebCGM、EMF/WMF のようなベクトル図形、さらにはPDFなどの多様なデータを、出力PDF中に埋め込むことができますので、表現豊かな文書組版も可能です。

ワンソース・マルチユースでコスト削減



AH Formatter を使った自動組版のシステム例